

「北アルプス国際芸術祭 2020」

■ 概要

長野県の北西部、松本平の北に位置する大町市は、3,000m級の山々が連なる北アルプス山脈の麓に位置し、清冽な雪解け水と澄んだ空気、四季折々の景観に恵まれ、古くから塩の道千国街道の宿場町として栄えました。人口は約28,000人、北の五竜岳から南の槍ヶ岳頂上までを収める市の面積は565km²、市街地の標高は700m余りの典型的な内陸性の気候で、北アルプスの山々を映す仁科三湖やダム湖があり、豊富な温泉にも恵まれた地域です。しかし、近年では日本創成会議が発表した消滅可能性都市に上がるほど、過疎高齢化も深刻化しています。地球環境が危機に直面し、現代の資本主義が様々な課題に直面している現在、グローバル化の波の中で、土地固有の地域資源を明らかにし、コミュニティを再生していく革新的な創造力をもったアーティストや、様々なクリエイターによるプロジェクト提案をお待ちしています。

■ 作品展開エリア概要

① 源流エリア（展開候補：大町温泉郷、常盤地区、国営公園）

源流域エリアは、北アルプスの雪解け水がいたる所を流れる湧水エリアであり、信濃大町の自然環境を体感する最も特徴的な場所です。また、戦後日本を代表する土木建造物である黒部ダムの玄関口として、多くの来訪者を歓迎しています。豊かな源流の恵みと、近代土木技術による治水/利水の歴史。北アルプス山麓の自然と文明が交差するエリアです。

② 仁科三湖エリア（展開候補：木崎湖、中綱湖、青木湖）

大町市の北の玄関となる仁科三湖は、古くは塩の道と呼ばれた道筋に位置する3つの湖からなるエリアで、北から長野県有数の深度と透明度を誇る青木湖、四季折々の景観を湖面に映す中綱湖、そしてアートやスポーツのアクティビティが豊富な木崎湖が並ぶエリアです。

③ 市街地エリア（展開候補：信濃大町駅前、市街地）

大町市街地は、かつて塩の道千国街道の宿場町として栄えたことで有名です。古い水路が多く残っており、趣深い町屋作りの家々の床下を流れる風景など、随所に小さな発見や驚きが潜んでいます。そんな街並みのなかに融合する現代アートを巡って、地図を片手にゆったりと歩けば、ふたつの時代を行き来するような独特の雰囲気味わうことができるエリアです。

④ 東山エリア（展開候補：八坂地区、美麻地区、社地区）

東山エリアの鷹狩山山頂からは、大町市全域を俯瞰しながら北アルプス山脈を見上げることができます。信濃大町の中心部は西側の北アルプス山脈と、東側に広がる豊かな里山に囲まれた扇状地（盆地）で、南北に走る糸魚川静岡構造線という活断層上に位置しています。

この糸魚川静岡構造線を境に東西で地質や生態系が変化し、東半分を東北日本、西半分が西南日本と呼ばれており、太古の昔に分断されていた日本列島の成り立ちを彷彿させるエリアです。

⑤ ダムエリア（展開候補：大町ダム、七倉ダム、黒部ダム）

大町市はアジア最大級の土木建造物である黒部ダムの玄関口であると同時に、北アルプス山麓の扇状地に位置する地域として、多くのダムを保有しています。高瀬渓谷の絶景を背景に建設された大町ダム、七倉ダム、高瀬ダムといった近代土木建造物があるエリアです。

北アルプス国際芸術祭 2020

作品公募要項

応募締切 2019年7月19日（金）必着

会 期：2020年5月31日（日）～7月19日（日） 50日間

会 場：長野県大町市全域

主催：北アルプス国際芸術祭実行委員会

公募要項

[公募内容]

応募内容 —— 北アルプス山麓（長野県大町市）の歴史、文化、自然を活かしたアート作品や、豊かな地域資源を活用した創造的なプロジェクト（パフォーマンス、食プロジェクトなど）を募集します。
※具体的な設置、活動場所は提案されたプランに応じて事務局が調整します。

応募資格 —— 北アルプス国際芸術祭の趣旨を理解していること。

採用 —— 5点程度（状況に応じて採用作品点数は増減します）
採用作品には、最大200万円を上限に制作補助費が支払われます。
※最終的な制作費の金額は、見積書の提出等を経て決定します。
※制作費以外の金額（交通費・宿泊費など）は支払われません。
※収益が見込まれる作品に関する最終的な収益の分配については、実行委員会との協議をもって決定します。
※食プロジェクト等に関する立上げ費用については実行委員会と相談のうえ決定します。

[提出物・条件]

提出物 —— 1. 応募用紙（別紙）：先頭に添付してください。
2. 作品提案書：以下の内容が明記されていること。
作品タイトル、コンセプト、内容、制作方法、素材、サイズ、制作スケジュール、住民を交えた企画(WS)、制作費の予算案（収入のあるプロジェクトについては収支計画も提出）、ドローイングや模型写真・図などを用いてわかりやすく表現したもの。
※作品コンセプト・内容説明の文章は、それぞれ日本語の場合400字程度、英語の場合A4用紙1/2枚程度に簡潔に表現すること。
3. 経歴書・参考作品事例
※プランの参考になる資料はA4サイズを基本としますが、これにより難しい場合は適宜のサイズも可とし、極力A4サイズに折りたたむこと。
4. 上記1～3の電子データ(PDF, JPEG, MS Office のいずれか)を記録したCD
5. 申請料の領収書コピー
※海外在住の方は、クレジットカード番号を応募用紙に記載（振込み不可）

提出物体裁 —— 上記1～3を1冊にし、A3サイズ以内、かつ合計10枚以内でまとめステーブラ留め。
提出物は紙媒体とする。(4.のCDは除く。)
* ファイル、パネル不可
言語は日本語または英語のみとします。
* 提出物は返却しません。保存や破棄に関する判断は主催者に委ねられます。必要に応じてコピー等をお願いします。

規定・条件 —— 応募点数：応募者1組につき3プランまで
作品そのものの条件：サイズ・素材・重量等については特にありません。
設置環境に関する条件：原則、現状復帰をすること。機能を有する場合は、その機能を維持させること。
設置期間に関する条件：原則50日間良好な状態が維持されること。

応募受付期間 —— 2019年6月3日（月）— 7月19日（金）17時必着。持込み不可

応募方法 —— 事前に申請料をお支払いのうえ、公募要項に定める提出物を実行委員会へ送付してください。

審査 —— 北川フラム（北アルプス国際芸術祭総合ディレクター）が各エリアの諸条件、関係者や住民との関わりなどを考慮のうえ選考し、実行委員会が決定します。
1 次審査：提出物による書類審査（2019年7月中）
2 次審査：面接審査。必要に応じて現地視察（1次審査通過者に対して順次実施）
※1次審査通過者には、2019年8月中をめどに事務局より直接連絡します。
※審査結果に関するお問い合わせには一切応じられませんので、御了承ください。

審査発表 —— 2019年8月以降、随時、公式HPにおいて、参加アーティストとして発表します。
※2次審査の審査結果は、最終11月末日までに個別通知いたします。
※公式ウェブサイトに掲載される参加アーティストが公募作家であるか否かの公表はいたしません。
※審査発表は2019年秋頃に予定している参加アーティストの発表をもって終了となる予定です。

申請料 —— **金額：1,000円（1プランにつき）**

次の（1）または（2）のいずれかの方法でお支払いください。
海外からのお支払いの場合は（2）を利用してください。

（1）口座振替

※振込手数料は応募者負担です。

※振込人名と応募者名が異なる場合は、応募用紙に必ずその旨を記載して下さい。

八十二銀行大町支店：普通 822419 北アルプス国際芸術祭実行委員会

（2）インターネット決済

以下のページから、決済を行ってください。

<https://shinano-omachi.jp/asp-products/payment-application/>

質疑応答 —— ○電話等による個別の質問には一切応じられませんので、御了承ください。
○質疑は、FAX・郵送・e-mailのいずれかの方法で事務局まで送付ください。
○質疑を集約し、公式ウェブサイトにて回答を公開します。
○質疑提出締切—2019年6月28日 回答予定—2019年7月5日

【問い合わせ・提出先】

北アルプス国際芸術祭実行委員会事務局

〒398-8601 長野県大町市大町3887番地(大町市役所まちづくり交流課国際芸術祭推進担当内)

FAX：0261-23-4304 / e-mail：art_omachi@city.omachi.nagano.jp

公式ウェブサイト：http://shinano-omachi.jp

現地見学会 —— 2019年6月15日（土） ※オプションツアー— 6月16日（日）
※事前申込みが必要です。詳細は、2019年5月24日（金）には公式ウェブサイトに掲載します。
※現地見学会は別途費用がかかります。
※現地見学会への参加の有無は審査に影響ありません。現地見学会に参加しない方でも応募は可能です。

著作権等 —— ○作品プランの著作権は主催者に帰属します。
○作品プランの著作権は応募者に帰属します。
○作品プランのドローイングや、実施作品の写真は、事務局が必要と判断した広報物（記録集等印刷物、ウェブサイト、プレス告知等）に無償で提供されます。